

【 臨床研究に関する情報の公開 】

当院のICUに入院された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力をお願いについ

項 目	内 容
1. 研究課題名	日本における集中治療室入院患者に対する早期離床の実態調査 Early Mobilization Practices Of Adult Patients admitted to ICU in Japan: A one-day Point-Prevalence Study
2. 研究の対象者	2024年3月13日～2026年3月31日の間に当院の集中治療室に入室した患者
3. 研究期間	2024年3月13日～2026年3月31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所: 関西電力病院 ジハビリテーション部 研究責任技師: リハビリテーション科技師 松木良介 共同研究機関: 杏林大学医学部附属病院、福井大学医学部附属病院、札幌医科大学附属病院、長崎大学病院、川崎医科大学附属病院、長崎大学生命医科学域
5. 本研究の意義・目的	日本の集中治療室に入室している重症患者における離床・リハビリテーション実施率を明らかにする。また、離床が実施できなかった患者の患者情報から、その阻害因子について調査する。
6. 研究の方法	【対象となる患者さま】 上記期間内に当院の集中治療室に入室した患者 【方法】 ICU入室中の離床・リハビリテーション実施率を調査する。また、離床が実施できなかった患者の患者情報から、その阻害因子について調査する。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	電子カルテおよび診療録に記載のある診療記録および検査データより、ジハビジの実施内容、離床が実施できていなかった場合の理由、年齢、性別、身長、体重、病名、ICU入室理由、入室しているICUのタイプ(surgical ICU, COronary care unit, Stroke care unitなど)重症度(APACHE II score: acute physiology and chronic health evaluation)、ICU滞在期間、人工呼吸器装着の有無、人工呼吸器装着期間、補助循環の有無、覚醒レベル、投薬状況、栄養投与状況、併存疾患(Charlson comorbidity Index)入院前のフレイルの有無(Clinical Frailty Scale)
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	収集した情報は、解析する前に氏名・患者IDなどの個人情報を削除し新たな符号(番号)を付け、どなたのものかわからないようにします(このことを匿名化といいます)。匿名化した上で、パスワードロックのかかる情報漏洩対策を施した本研究専用のハードディスクに保管し管理いたします。患者IDと新たな符号の対応表は、別途パスワードロックのかかったメモ리카ードに保存し、同様に管理いたします。
9. 個人情報の保護について	この研究に関わって収集される試料や情報。データ等は外部に漏えいすることのないように、慎重に取り扱います。研究結果は個人が特定できない形式で学会や医学雑誌に公表される予定です。 研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ。苦情等の窓口へお申し出下さい。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部 松木良介
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション部 松木良介 電話: 06-6458-5821 (代表)